

第4回東急グループ環境・社会貢献賞表彰を実施

グランプリは、上田電鉄「積み重ねてきた安全安心が市民のパワーを呼びこんだ上田電鉄別所線被災からの復活」が受賞

東急グループ

今般、東急グループは、「第4回東急グループ環境・社会貢献賞表彰」(以下、本表彰)の受賞者を決定しました。

東急グループは、「美しい時代へ」というグループスローガンのもと、交通・不動産・生活サービス・ホテルリゾートといった幅広い分野で社会のインフラとなる事業を展開する、224社5法人(2022年3月末現在)から成る企業グループです。100年前の創業以来、鉄道を中心としたまちづくりを通じて社会課題と向き合い、環境に配慮し、広く社会に役立つ事業運営を続けてきました。本表彰は、グループ各社の優れた環境・社会貢献への取り組みを表彰し、社内外に周知することで、従業員を含めた一人ひとりの環境・社会貢献に対する意識の向上と、東急グループの環境・社会貢献への取り組みを活性化することを目的として、年に一度実施しています。なお、本表彰は、2008年度に創設した「東急グループ 環境賞」と「東急グループ ブランド賞」を統合し、2018年度から開始したものです。

第4回目となる2021年度は、「環境」「社会貢献」の2部門で対象となる活動案件を募集し、38社合計77件(環境44件、社会貢献33件)の応募が寄せられました。今般、グループ10社の環境・社会貢献部門の責任者により構成される審査委員会により、最も優れた取り組みとして「環境・社会貢献賞(グランプリ)」1件、各部門を代表する取り組みとして「環境賞」3件、「社会貢献賞」2件、「特別賞」4件の計10件の表彰を決定しました。

受賞者は以下の通りです。

■「環境・社会貢献賞(グランプリ)」(1件)

積み重ねてきた安全安心が市民のパワーを呼びこんだ上田電鉄別所線被災からの復活	上田電鉄
--	------

■「環境賞」(3件)

ゼロからZeroへ 都市大新棟ZEB取組み	五島育英会 東急設計コンサルタント 東急建設
独自開発ツールで建材のCO ₂ 排出量を迅速に算定・提供	東急建設
地域と共につくりあげた池上駅・エトモ池上	東急・東急電鉄 東急設計コンサルタント

■「社会貢献賞」(2件)

買物難民の救済や鉄道維持に資する買物列車	東京都市大学・伊豆急行
ベトナムバス特別輸送でコロナ禍人命救助!	ベカメックス東急バス

■「特別賞」(4件)

残存樹林を再生し未来へ引き継ぐ取り組み	石勝エクステリア
下田市におけるアカウミガメ産卵地保全活動	東京都市大学・伊豆急行
サンゴを守る蜂蜜を使用した瀬良垣スイーツ開発	瀬良垣ホテルマネジメント
地元の中高生にコンサートの機会を	東急モールズデベロップメント



▲被災から復活した別所線
(上田電鉄)



▲東京都市大新棟 ZEB 取組み
(五島育英会・東急設計コンサルタント・東急建設)



▲警察先導での派遣医療従事者の輸送
(ベカメックス東急バス)

本表彰制度を通じ、業界の垣根を越えて東急グループ各社の知見を共有することで、「美しい生活環境を創造し、調和ある社会と、一人ひとりの幸せを追求する」というグループ理念のさらなる浸透に寄与することを目指します。

以 上

【別紙】

1. 表彰案件の内容と採択理由

■環境・社会貢献賞(グランプリ・1件)

・積み重ねてきた安全安心が市民のパワーを呼びこんだ上田電鉄別所線被災からの復活（上田電鉄）

被災をきっかけに廃線に繋がる例も多い中、国や地元行政・住民との連携ならびに、資材再利用による地域シンボルの再現や河川内工事という制約条件の克服にむけて、上田電鉄を中心にグループ各社とのシナジーを発揮し、「ひとつの東急」として、早期復旧という社会的要請を実現することにより地域社会に多大なる貢献を果たしたもので、審査員から満場一致で選出された。

■環境賞(3件)

・0からZeroへ 都市大新棟ZEB取組み（五島育英会・東急設計コンサルタント・東急建設）

東京都市大学世田谷キャンパスにおいて、「ZEB Ready」(50%以上省エネ達成)を実現。ZEB化の難易度が上がる大規模建築物(延べ面積10,000㎡以上)において「ZEB Ready」を達成した新築の大学は2例目と希少で、大学の魅力度や価値の向上に貢献した点が評価された。

・独自開発ツールで建材のCO₂排出量を迅速に算定・提供（東急建設）

近年、サプライチェーンを含むCO₂排出への対応の重要性が高まる中、建築資材に係るCO₂排出量について「積み上げ式CO₂排出量算定シート」を開発。建設業界初の試みとして、業界のCO₂削減手法を先導している点が評価された。

・地域と共につくりあげた池上駅・エトモ池上（東急・東急電鉄・東急設計コンサルタント）

池上駅駅舎改良工事と駅ビル開発にあたり、木材の使用にこだわった温かみのある空間づくりを実現。多摩産材を多く使い地域の木材循環に寄与し、施設全体で14t-CO₂の炭素貯蔵量を確保したほか、旧駅舎の古材「えきもく」を再活用するプロジェクトを実施。グループ各社だけでなく、地域の皆さまにも理念を共感いただき遂行した点が評価された。

■社会貢献賞(2件)

・買物難民の救済や鉄道維持に資する買物列車（東京都市大学・伊豆急行）

伊豆急行の列車を「走るスーパー」にして、買物難民の救済をはかる産学連携の実証実験。鉄道車両を活用した独創的なアイデアは、買物難民の救済とともに、コロナ禍で維持・運営が困難となりつつある地方都市での鉄道事業の新規ビジネスモデルとしても期待され、その点が評価された。

・ベトナムバス特別輸送でコロナ禍人命救助！（ベカメックス東急バス）

ビンズン省からの要請でコロナ患者、医療関係者、物資などの特別輸送を実施。2021年7月から10月の間に、延べ3,900台のバスを出動させ、10万人以上の輸送に貢献。海外においても地域密着の社会貢献活動へ取り組む姿勢が評価された。

■特別賞(4件)

・残存樹林を再生し未来へ引き継ぐ取組み（石勝エクステリア）

大学跡地の宅地開発において、敷地面積の約21%(4.2ha)の残存樹林の再生に取組み、居住者が自然に親しむ仕組みを構築。本件は、いきもの共生事業所認証「ABINC認証」を取得。取得を機に竹林管理や清掃活動が実施されるなど、生物多様性の取組みへの理解が関連事業者にも広がっている点が評価された。

・下田市におけるアカウミガメ産卵地保全活動（東京都市大学・伊豆急行）

東京都市大学環境学部田中章研究室では2010年から静岡県下田市において、絶滅危惧種に指定されているアカウミガメの保全活動を行っている。十数年に渡る取組みの継続性や伊豆急下田駅に本活動のポスターを掲示するなど、東急グループ内での協働により、グループ内のSDGsに対する意識向上と対外的な企業ブランディングにも貢献している点が評価された。

・サンゴを守る蜂蜜を使用した瀬良垣スイーツ開発（瀬良垣ホテルマネジメント）

ホテル「ハイアット リージェンシー 瀬良垣アイランド 沖縄」の取組み。恩納村の赤土流出対策のグリーンベルトを活用して採れた蜂蜜を使ったスイーツの開発と販売。濃厚な味わいが好評で、県内のメディアでも紹介され、プロジェクトの周知、蜂蜜のブランド化にも寄与したことが評価された。

・地元の中高生にコンサートの機会を（東急モールズデベロップメント）

コロナ禍で校外でのコンサートを実施できなかった地元中高の吹奏楽部生のためにフィリアホールでの開催を実現。実現に向けて、クラウドファンディングを活用した資金調達という新たな取組みへの姿勢が評価された。

2. 表彰制度開始以来のグランプリ一覧

■東急グループ環境・社会貢献賞

2018年度	使用済アメニティを活用“世界初の水素ホテル”	東急ホテルズ
2019年度	南町田グランベリーパークの環境・防災施策	東急
		東急電鉄
		東急設計コンサルタント
2020年度	使命感を持ちワンチームで挑んだコロナ無症状者・軽症者宿泊療養の受入	東急ホテルズ
2021年度	積み重ねてきた安全安心が市民のパワーを呼びこんだ 上田電鉄別所線被災からの復活	上田電鉄

■東急グループ 環境賞

年度	案件名	受賞会社
2008年度	東急東横線渋谷駅地下化事業	東京急行電鉄
2009年度	グランドメゾン東戸塚における連鎖植生事業	石勝エクステリア
2010年度	二子玉川再開発事業における環境配慮	東京急行電鉄 東急不動産
2011年度	① 渋谷ヒカリエ ～自然エネルギーを活用した環境に優しい複合ビル～	東京急行電鉄
	② 東急プラザ表参道原宿における屋上緑化と環境保全の取り組み	東急不動産
	③ お客様と共に取り組む環境保全活動「グリーンコイン」が10周年	東急ホテルズ
2012年度	① 緑をキッカケに、よりよい街づくり 『みど*リンク』アクション	東京急行電鉄
	② 「働ける屋上庭園」がある、緑・光・風のオフィス～新目黒東急ビルにおける環境への新たな取り組み～	東急不動産
2013年度	① 省エネで街を元気に「家庭の省エネプロジェクト」	東京急行電鉄 イツ・コミュニケーションズ 東急建設
	② 東急グループで取り組む省CO ₂ 先導事業「ブランドシティ品川勝島」	東急不動産
2014年度	二子玉川ライズにおけるLEED ND取得	東京急行電鉄 東急不動産
2015年度	東急プラザ銀座 ～環境配慮・地域貢献の取り組みについて～	東急不動産
2016年度	持続可能な街づくり「世田谷中町」プロジェクト～分譲マンションとシニア住宅 大規模複合開発～	東急不動産
2017年度	公園の中のオフィス「日比谷パークフロント」～日本の”はたらく”を緑でデザインする～	東急不動産

■東急グループ ブランド賞

年度	案件名	受賞会社
2008年度	ママ大学	東急ストア
2009年度	マリ共和国への衣料品救援活動	東急建設
2010年度	とうきゅうスプリングコンサート	東北東急会
2011年度	ハンズヒントクラブ	東急ハンズ
2012年度	東急ちびっこフットサルYOKOHAMA	横浜東急会
2013年度	SHIBUYA109KAMAIISHI	東急モールズデベロップメント
2014年度	事業継続力の向上と減災への取り組み	イツ・コミュニケーションズ
2015年度	横浜市・川崎市と連携した地域見守り活動	東京急行電鉄 東急ストア 東急セキュリティ イツ・コミュニケーションズ
2016年度	「子供たちに笑顔を！」プロジェクト	東京急行電鉄 東急ホテルズ 東急バス 東急ストア 東急エージェンシー 東北東急会
2017年度	さっぽろ駅前保育園の開園	東急百貨店

以 上